

KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fan of the Kanto living

Free!!

6 決闘!彩の国 ~前編~ 2010.11.23 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



絶対残留宣言!!

28節 ガンバ大阪戦では、17番吉田孝行のゴールで先制すると、31番小川慶治朗のプロ初ゴールを含む大量4得点で勝利し、和田体制初勝利。続く29

いよいよ、2010年も残すところ3試合となった。三浦監督を船長として、出航した2010年のヴィッセルだが、怪我人続出で、苦戦のつづいたシーズンであった。

9月からは和田監督に新たな舵取りを託し、チーム状態は上向きとなったが、なかなか勝利に結びつかず、29節(原稿執筆時点)を終わった時点で、勝ち点29で16位。残留争いのだ真ん中である。

残る試合は、11、23大宮戦。11.27ホームでの最終戦となる清水戦。そして12.4埼玉スタジアムに乗り込んでの浦和戦の3試合。

特に、32節大宮戦は、残留争いをするチーム同士の対戦。今季最大の一番となる。

追い詰められた感のあるヴィッセルだが、ここにきて、長かったトンネルを抜け出した。

節、ベガルタ仙台をホームに向かえた一戦では、吉田の2試合連続ゴール、7番朴康造の今季初ゴールで、2-0。初の連勝を飾った。

今の勢いは神戸にある。残留を争う他チームの過密日程も、神戸には追い風となるだろう。

選手は一丸となって、闘っている。ならば、我々サポーターのやることは明確だ。選手を信じ、監督を信じ、チームを信じ、勝利を信じること。

「今はフロント、選手、監督、コーチ、サポーター、会社の人間も、本当にチームとして一つにまとまっている」(18番 田中英雄)

そんなチームが弱いわけがない。サポーターの声、想いが、残留に向けての確かな力となるだろう。神戸の残留は約束されている。

THINK BACK 大宮

2009 第3節

@NACK5 1-1△

前節、川崎に2-1(須藤、松橋)で逆転勝利した神戸。引き続き須藤と吉田をトップ配置し、新しいスタイルを模索中の神戸だったが、相手のブロックを攻めあぐね、チャンスは新外国人マトに摘まれる。両軍決め手を欠く中、60分吉田が波戸との同級生マッチアップでうまくタイミングを外し技あり左足シュートで先制。しかしドリブラー石原が投入され流れは大宮に移り、ガナ投入も流れは変わらないまま84分CKから石原ヘッドで失点し終戦(石原にはホームズでも中央突破ゴールを許す)。神戸はこの試合の後、勝ち負け出入りの激しいシーズンとなってゆく。



2008 第27節

@NACK5 0-2○

この年のスカパー!企画「クラブが選ぶ!ベストゲーム」に推された試合。ゴールこそ2得点だがシュート17本とホーム大宮を圧倒し終始ゲームを支配した。1点目は田中のシュートがなぜかポツティに納まり、反転シュートが豪快に決まる。2点目はヨシトのシュートがブロックされた浮き玉を、もう一度ヨシト自身がゴール前の吉田に左足でボレー気味にパス。吉田は倒れながらも泥臭く2試合連続となるゴールを決める。全員攻撃・全員守備、ハードワークを体現できた、そしていまや伝説となりつつある5連勝の始まりの試合となった。

マスコット研究所

第5回

DATA アルディ&ミーヤ

旧大宮市のマスコットの存在のリスがモチーフ

ミーヤちゃんはJマスコット界で有数の魔性のキャラ。愛くるしい容姿と明るいキャラクターで、ふるん太くん(川崎)、ニャオざね(熊谷市のゆるキャラ)、そしてついにジャイキリのパッカくと、各方面のキャラと噂になる恋多き女。



大宮のマスコットは必ずアウェイ側にも挨拶に来るんだけど、それはミーヤちゃんの開けっぴろげな性格がそうさせるんでしょうね。アルディくんはそんなミーヤちゃんにはただの友達といわれながらも、けなげにスタジアムを盛り上げる。悪い女に振り回されて苦労する男ってのもなかなかいいモンですよ。分かります。僕ら神戸サポもDMだから。

2010 年度日程

| 節 | 対戦相手 | 日時 | 会場 | 勝敗・得点 | 節 | 対戦相手 | 日時 | 会場 | 勝敗・得点 |
|----|-----------|-----------------|---------|-------|----|-----------|------------------|---------|-------|
| 11 | ジュビロ磐田 | 5月 8日(土) 19:00 | H ホームズ | ○ 3-0 | 23 | サンフレッチェ広島 | 9月 18日(土) 13:00 | A 広島ビ | △ 1-1 |
| 12 | セレッソ大阪 | 5月 15日(土) 17:00 | A 長居スタ | ● 1-2 | 24 | セレッソ大阪 | 9月 25日(土) 15:00 | H ホームズ | △ 0-0 |
| 13 | FC東京 | 7月 17日(土) 18:30 | A 味スタ | △ 2-2 | 25 | 川崎フロンターレ | 10月 2日(土) 13:00 | H ホームズ | ● 0-4 |
| 14 | 大宮アルディージャ | 7月 25日(日) 18:00 | H ホームズ | ○ 3-1 | 26 | 横浜F・マリノス | 10月 17日(日) 13:00 | A 日産スタ | ● 0-1 |
| 15 | ガンバ大阪 | 7月 28日(水) 19:00 | H ホームズ | ● 1-3 | 27 | 名古屋グランパス | 10月 23日(土) 19:00 | H ホームズ | ● 1-2 |
| 16 | 鹿島アントラーズ | 7月 31日(土) 19:00 | A カシマ | ● 0-3 | 28 | ガンバ大阪 | 10月 30日(土) 16:00 | A 万博 | ○ 4-2 |
| 17 | 浦和レッズ | 8月 8日(日) 18:00 | H ホームズ | ○ 1-0 | 29 | ベガルタ仙台 | 11月 6日(土) 14:00 | H ホームズ | ○ 2-0 |
| 18 | 湘南ベルマーレ | 8月 14日(土) 18:00 | H ホームズ | △ 0-0 | 30 | アルビレックス新潟 | 11月 14日(日) 19:30 | A 東北電ス | △ 1-1 |
| 19 | ジュビロ磐田 | 8月 18日(水) 19:00 | A ヤマハ | ● 2-3 | 31 | 鹿島アントラーズ | 11月 20日(土) 14:00 | H ホームズ | ○ - |
| 20 | モンテディオ山形 | 8月 22日(日) 18:00 | A NDスタ | △ 0-0 | 32 | 大宮アルディージャ | 11月 23日(火) 17:00 | A NACK5 | ○ - |
| 21 | FC東京 | 8月 28日(土) 19:00 | H 神戸ユニバ | △ 0-0 | 33 | 清水エスパルス | 11月 27日(土) 14:00 | H ホームズ | ○ - |
| 22 | 京都サンガF.C. | 9月 11日(土) 18:00 | A 西京極 | ● 0-3 | 34 | 浦和レッズ | 12月 4日(土) 15:30 | A 埼玉スタ | ○ - |

*印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

THINK BACK SPECIAL 2010 第1

開幕～WC

15年目の開幕はCold PlayのViva La VidaをBGMに震災への想いをはせたVTRから始まった。素晴らしい音楽と映像でのスタートだったがチーム自体は万全ではなかった。

主な補強はポポ、エジミウソンとJで実績のある外国人、加えてJ2で実績を残したFW都倉。しかし都倉は開幕直前に負傷、エース大久保嘉人は東アジア選手権で負傷、中盤の要ポッティは手術明けとメンバーがそろわないスタートであった。

開幕戦こそポポの2ゴールで快勝!しかし、その後はFWの決定力不足がひびき、開幕当初は強固だった守備も次第にほころびを見せ失点を重ね、勝点を得られない。嘉人のWC代表選出を決定つけた磐田戦は3-0の快勝であったが、次のC大阪戦は逆転負け。勢いに乗れず、WC中断までの12試合を3勝2分け7敗、勝点11の15位で終了た。



WC中断明け～監督解任(13～22節)-負の連鎖-

この時点では鹿島が例年通り首位。清水との首位争いが予想されたが、「鳴くまで待たせ」名古屋が18節、ついに首位を奪取した。一方、17、18位は2チームで固定化、15位争いが激化し始める。

一桁順位の旗を降ろしていない神戸。17節までは、他のチームの足踏みもあり順位は13位まで上昇したが、下位に分の悪い試合を続け順位を下げる。そしてクラブは「負の連鎖」を断ち切るため、監督更迭の決断を下す。分析はシーズン終了後にプロに任せ、記憶に残るシーンのみ列挙しよう(逃げたわけではない!キリ)。

・奇跡のループ(ポッティ・ガクト)・レッド連発(モギ・ピツ・エノ×2・マツオカ)・臨時キーパー(都倉・河本)・ジェミン獲得
13節以降の戦績は2勝4敗4分。ここまで5勝11敗6分け、勝点21の16位。最後に一つだけいい話を。中断明けの2勝はさいたま勢から頂いたものである。

REPORT 1 激闘!味スタ



時は7月、W杯の熱狂が冷めやらぬまま再開されたリーグ戦第13節。相手のFC東京は今季なかなか調子が上がらないうえにW杯で活躍した長友選手のセリエA移籍が決まったこともあり、しれっと勝ち点3を頂きたい試合であった...が、結果はご存じのとおり終了間際の嘉人のココロPKで辛くも追くドロー。今はなき三浦監督の第三者的なコメントが空しく響いた。

しかし、両チームが激闘を演じた数時間前にも両チーム間でリーグ戦以上の激闘が繰り広げられていた事はあまり知られていない。実は味スタ(裏)にて、両チームのサポーターによるプライドを掛けた絶対に負けられないフレンドリーフットサルが行われていたのである。試合は約2時間の激闘の末、神戸の完勝!できればこの結果もリーグの勝ち点に加えて頂けたら幸いなのだが(泣)

SUPPORTER'S REPORT

サポーターズレポート

REPORT 2 いぶいたぜ!ポポ&トクラ編



前期終了後にいぶいた時の事。APに直にサインをもらうためにファンゾーンで並んでいました。始めにポッティが来て次にポポが来てくれたのですが横に居た3歳くらいの女の子が「最初のポポがイイ」とポポの目の前で言ったのです(笑)その女の子にしたら外人選手は全員ポポなのかな?!また都倉にサインをもらう際AP紙面はいちななさん作の都倉イラスト入りでした。APを見せると「コレ、僕ですか!?似てますね」との本人お墨付きをいただきました。特集組めるくらいの活躍も待ってますよ!



| | | | | |
|--------------|--------------|-------------------------|--------------|-------------|
| 1 GK 榎本 達也 | 28 GK 嘉味田 隼 | 29 GK 紀氏 隆秀 | 30 GK 徳重 健太 | 2 DF 小林 久晃 |
| 4 DF 北本 久仁衛 | 5 DF 河本 裕之 | 14 DF 宮本 恒靖 | 15 DF 大屋 翼 | 23 DF 近藤 岳登 |
| 25 DF 石櫃 洋祐 | 33 DF 富田 大介 | 6 MF エジミウソン | 7 MF 朴 康造 | 8 MF 松岡 亮輔 |
| 10 MF ポッティ | 11 MF ポポ | 16 MF 楠瀬 章仁 | 17 MF 吉田 孝行 | 18 MF 田中 英雄 |
| 20 MF 森岡 亮太 | 24 MF 三原 雅俊 | 9 FW 我那覇 和樹 | 13 FW 大久保 嘉人 | 19 FW 有田 光希 |
| 21 FW 茂木 弘人 | 26 FW 高橋 祐太郎 | 27 FW 都倉 賢 | 31 FW 小川 慶治朗 | 32 FW 三島 康平 |
| 34 FW イ ジェミン | 35 FW 永井 謙佑 | VISSEL KOBE 2010 | | |

▽ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード
<http://kobeap.net/>
 発行: KOBE AWAY PRESS (仮) 編集部



編集後記 早いもので今日の試合を含め、残りは3試合だけとなりました。開幕の京都戦に完勝し「今年こそ!」と思ったサポーターも多くおられるでしょう。でも、現実はその甘くはなかったのです(泣) えい!ここまできたら「たら」「れば」を言っても仕方ありません(キリ!) 逆転残留へ向け、ひとりでも多くのサポーターが声を出し、選手達を鼓舞しましょう!「奇跡は起きるものではないわ。起こすものよ!」とミ〇トさんも言っていました(笑) さあ皆さん、準備は出来ましたか? せ～の「WE ARE KOBE」(すた)

このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね! **Keep clean**